

環境教育「まず、今できることから」

歴史に学ぶ

発行所：地域環境活性化協議会
編集者：代表幹事 高橋賢一
連絡先：市民活動支援センター
尾張旭市渋川町三丁目5番地7
(渋川福祉センター内)
TEL 0561-51-2878



▲人物切、はちの、水がコソ使い。

命をいただく
学校給食で食育。
水危機と食料

食料生産に欠かせない水が、世界各地で枯渇の危機にさらされている。背景にあるのは、穀物や畜産物の需要増に伴う過剰な水の利用や地球温暖化などです。地球の淡水は2%、地球上の水は約14億km³、その約75%が海水です。さらに淡水のほとんどが氷や水河



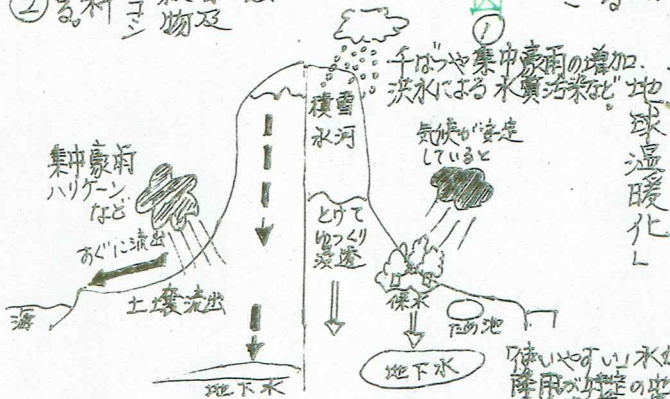
平成29年10月5日、学校給食センター 西部保育園

水不足の主要因②
需要が増大。トウモロコシなどが原料のバイオ燃料、フィルムも拍車をかけている。

世界の人口増加に加え、新興国などで肉食普及で飼料用としても穀物需要が増大。トウモロコシなどが原料のバイオ燃料、フィルムも拍車をかけている。

地下水として存在しており、河川や湖など人間が使いやすい状態にある水は全体の0.01%に過ぎません。

穀物需要の増大
。食生活の変化
。バイオ燃料ブーム
。人口増加



▲皆んなで野菜切。



▼食の大切さを説明。